

作成日 2003年 7月22日
改訂日 2009年 6月 1日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 アルボース石鹼液PX-2G-N (医薬部外品)
品名 アルボース石鹼液PX-2G-N
会社名 株式会社 アルボース
住所 大阪市中央区備後町2-4-9 (日本精化ビル)
電話番号 06-6204-6767 FAX番号 06-6204-0170
担当部門 開発部
緊急連絡先 078-413-3663 (開発部)
整理番号 AA-02

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 手洗い用石鹼液 (医薬部外品)
成分及び含有量 : ・クロルキシレノール (殺菌剤)
・石鹼素地
・法定色素
・水
・その他

3. 有害危険性の要約

最重要危険有害性 :
有害性 : 有害性は低い。
物理的及び化学的危険性 : 特記事項なし。
分類の名称 (分類基準は日本方式) : 分類基準に該当しない。

4. 応急処置

吸入した場合 : ガスの発生なし。
皮膚に付着した場合 : 使用後は洗い流す。
目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合 : すぐにコップ1~2杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道や粘膜を保護する。無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、必要に応じ、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
除去方法 : 漏出源を遮断し、漏れをとめる。
少量の場合は、吸着剤 (おがくず・土・砂・ウエス等) で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:

技術的対策

: 特記事項なし。

注意事項

: 特記事項なし。

安全取扱い注意事項

: 酸性洗浄剤及び逆性石けんと混合しない。

保管:

安全な保管条件

: 密栓し、直射日光の当たらない場所に保管する。
幼児の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保管上の注意

設備対策

: 必要なし。

管理濃度

: 濃度規制なし。

許容濃度

: 設定されていない。

保護具

: 必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観

: 緑色透明液体

臭い

: 僅かな原料臭

pH

: 11.5

引火点

: 引火性なし。

爆発特性

: 爆発性なし。

比重

: 1.037

溶解性

: 水に良

10. 安定性及び反応性

安定性

: 通常条件で安定。

反応性

: 酸性洗浄剤及び逆性石けんと混合しない。

危険有害な分解生成物

: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

: 製品としてデータなし。

発癌性

: 知見なし。

変異原性

: 知見なし。

12. 環境影響情報

: 蓄積性、魚毒性その他についてのデータなし。

13. 廃棄上の注意

: 大量に浄化槽、河川に廃棄しない。(浄化能力の低下及び泡が発生する恐れがある)
本品の通常使用時排水は、活性汚泥等で処理する。

14. 輸送上の注意

注意事項

: 容器の破損やキャップが取れないように注意する。

国連分類

: 国連の基準で評価して危険物に該当しない。

15. 適用法令

薬事法

: 医薬部外品

化学物質管理促進法 (PRTR法)

: 第一種指定化学物質 該当せず

: 第二種指定化学物質 該当せず

労働安全衛生法

: 施行令 別表第9 名称等を通知すべき物質 該当せず

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 : 株式会社 アルボース
住所 神戸市東灘区本山南町5-4-55
担当部門 技術開発部
電話番号 078-413-3663 F A X 番号 078-413-3986

【注意】

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。法令の改正及び新しい知見に基づいて改正されることがあります。
注意事項は通常の実施を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
すべての化学品には未知の有害性があり得るために、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。